

中央技術研究所において「ENEOS子供科学教室」を実施

記者各位

当社(社長:渡 文明)中央技術研究所(所長:岡崎 肇)では、1月25日(火)、2月3日(木)、4日(金)の3日間、地元横浜市の小学校高学年の子供たちを招き、「ENEOS子供科学教室」を実施致しましたのでお知らせいたします。研究所が主体となって子供科学教室を開講することは当社として初めての試みになります。

「ENEOS子供科学教室」は社会貢献の一環として行ったもので、科学・エネルギーそして石油について楽しみながら理解してもらうために開催された課外授業です。当日は、当社が生み出した様々な技術の中から「石油全般」・「潤滑油」・「構造色」※・「燃料電池」をテーマに上げ、実験やクイズを織り交ぜながら当社の若手研究員がわかりやすく説明しました。参加した子供たちからは「(燃料電池に使う)水素のことがわかった」「自分で色(構造色)をつくるのが楽しかった」などの感想があり、石油、そして石油から生まれた技術・製品について興味を持ってもらうことができました。

今後このような活動の他、製油所見学会や修学旅行の会社見学などの社会貢献活動を通し、地元の子供たちとの交流と地域との共生に努めてまいります。

※構造色とは、光の干渉を利用した発色方法です。コガネムシの羽など自然界にも多く見られ、環境負荷の少ない着色法として注目されています。

構造色を作る技術は携帯電話の液晶ディスプレイなどに応用されています。

記

1. 実施日時 1月25日(火)、2月3日(木)、4日(金)10:00~11:30
2. 実施場所 新日本石油(株)中央技術研究所
3. 対象 横浜市立間門(まかど)小学校 5年生3クラス 約90名
4. 内容 (1)石油についての説明と「石油サンプルの紹介」、
(2)潤滑油についての説明と「摩擦を減少させる実験」、
(3)構造色についての説明と「構造色を作る実験」、
(4)燃料電池の説明と「燃料電池で動くおもちゃの模型を使った実験」

以上

「ENEOS子供科学教室」風景写真



1. 設立 1941年(昭和16年)
2. 所在地 〒231-0815 神奈川県横浜市中区千鳥町8番地
3. 所長 岡崎 肇
4. 敷地面積 73,461m²

5. 事業概要

当社は燃料油・潤滑油の品質向上のための研究を行っています。また、石油のもつ限りない可能性を引き出す、多種多様な新素材の研究(炭素繊維・調光ガラス・液晶フィルム)など新しい分野でも着実な成果を上げています。

6. 現状研究領域

(1)石油研究

石油精製、燃料油、潤滑油、燃料電池

(2)高機能材料研究

LCフィルム、炭素繊維複合材料、調光ガラス、バイオプロセス

(3)分析技術開発

7. 活動基本方針

- (1)環境・将来品質に対応した技術開発・商品開発を推進し、石油本業の競争力強化に貢献すること。
- (2)エネルギーの多様化に応える技術開発を推進し、新エネルギービジネスの創造に貢献すること。
- (3)パートナー部門との連携、外部機関の有効活用により、新規分野の事業化・事業拡大に貢献すること。